

# 基本構想

## 第1章 群馬県の特徴と時代の潮流

- 1 群馬県の特徴
- 2 県民ニーズ
- 3 時代の潮流を踏まえた10年の展望
  - (1) 人口減少社会の到来・少子高齢化
  - (2) グローバリゼーションの進展
  - (3) 地域資源や技術を活かした産業創出の動き
  - (4) 地域の魅力を活かした観光振興の動き
  - (5) 安全・安心志向の高まり
  - (6) 多様な主体による地域づくり
  - (7) 地球環境問題
  - (8) 雇用環境の変化
  - (9) 男女共同参画社会
  - (10) 若者意識の変化
  - (11) 高速交通ネットワークの拡充
  - (12) 地方分権改革の進展

## 第2章 群馬県の目指す方向

- 1 基本理念
- 2 基本目標

## 第3章 計画の推進にあたって

- 1 県民等との協調
- 2 県政改革の推進
- 3 実効性の確保



# 第1章 群馬県の特性と時代の潮流

## 1 群馬県の特性

本県が有しているさまざまな優れた特性は、本県の本来の資質であるとともに、先人の絶え間ない努力によって培われてきたものです。将来にわたって社会経済環境が大きく変化していく中、こうした特性を発見・発掘し、「ふるさと群馬」の優れた潜在力や強みとして積極的に活かしていくことが重要です。そこで、ここでは本県が誇る恵まれた特性の一例を紹介します。

美しく豊かな自然と温泉地に恵まれています。

### ● つる舞う形の群馬県

本県は、本州のほぼ中央に位置する内陸県で、北部から西部にかけて山岳・丘陵が連なり、南東部には関東平野が開けています。県土の形は翼を広げて空に舞う鶴の形に似ており、「つる舞う形の群馬県」といわれ、県民に広く親しまれています。

### ● 豊かな自然

県土の約3分の2を山林が占め、県のシンボルである「上毛三山（赤城山、榛名山、妙義山）」のほか、浅間山、谷川岳、草津白根山などの個性豊かな山々や、国立公園の特別保護地区に指定されている尾瀬などがあり、貴重な自然の宝庫です。



自然保護の原点といわれる「尾瀬」

## ●首都圏の水がめ

流域面積日本一である利根川の水源地であるとともに、自然のダムである森林や多くの人工のダムを有し、豊富な水資源に恵まれています。首都圏の水道水源は多くを利根川水系に依存しているため、本県は首都圏の水がめとして重要な機能を果たしています。



首都圏の水を支える「矢木沢ダム」



利根川水源の碑（大水上山）



豊かな水が豪快に流れ落ちる「吹割の滝」

## ●多彩で魅力的な温泉

全国にその名をとどろかせている、草津、伊香保、水上、四万などをはじめ、100を超える温泉に恵まれています。



自噴湧出量日本一を誇る「草津温泉」



石段で有名な「伊香保温泉」



奥利根の渓流を望む「水上温泉」

日本を東西南北に結ぶ高速交通の結節性に優れています。

### ●東京から100km圏

我が国の経済活動の中心であり巨大市場を形成する東京から100km圏に位置するなど、地理的立地条件に恵まれています。



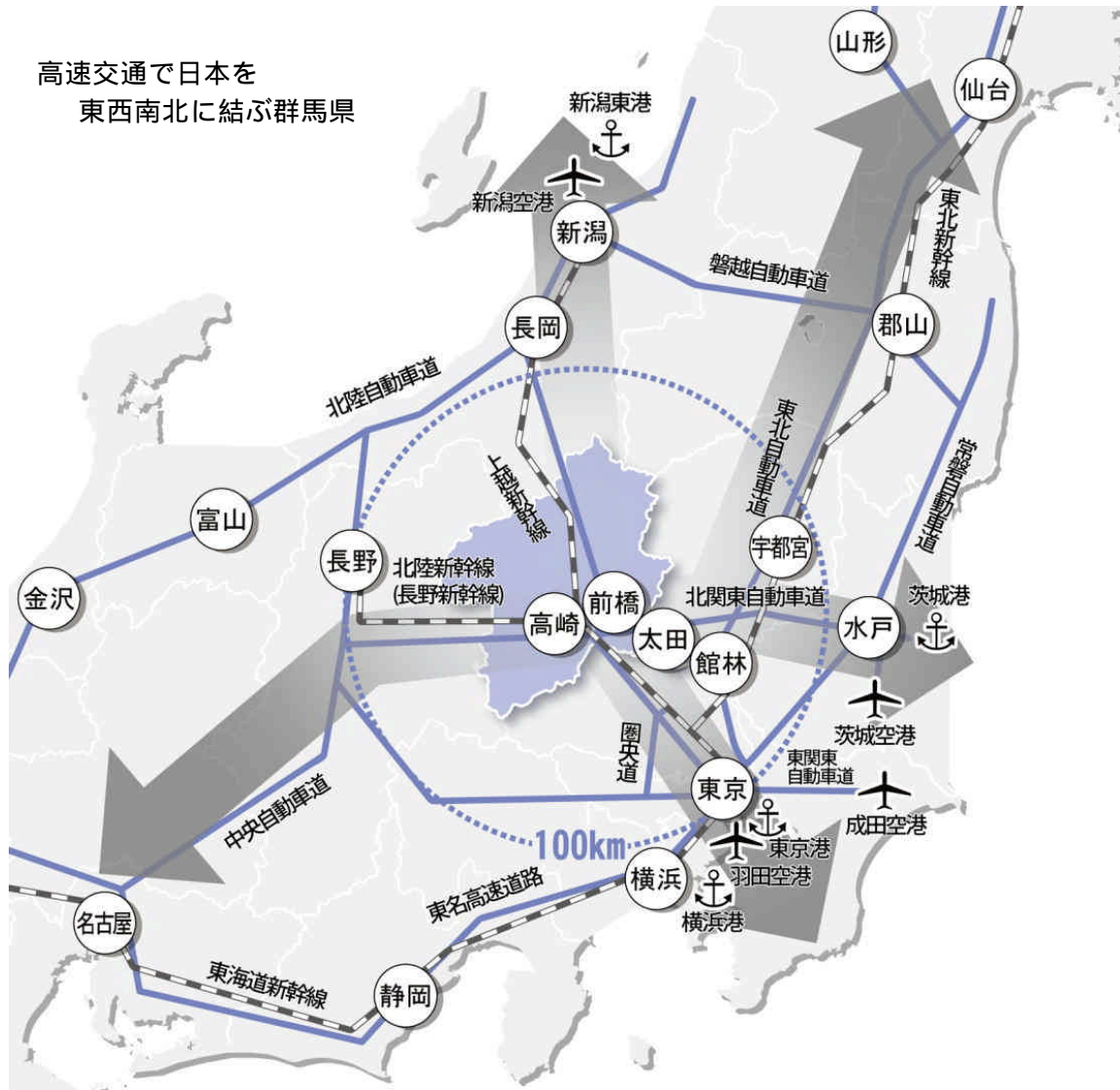
上越・長野新幹線が分岐する「高崎駅」

### ●交通の結節点

古来より西日本と東日本を結ぶ交通の要衝として発展し、現在、東京圏、信越地方、東北地方、中京圏を結ぶ交通の結節点として、高速交通の十字軸を形成する新幹線や高速道路網が整備されています。

### ●高速交通ネットワークの整備進展

今後、さらに進展する全国高速交通ネットワークの整備により、本県の潜在力や優位性がいっそう高まることが期待されています。





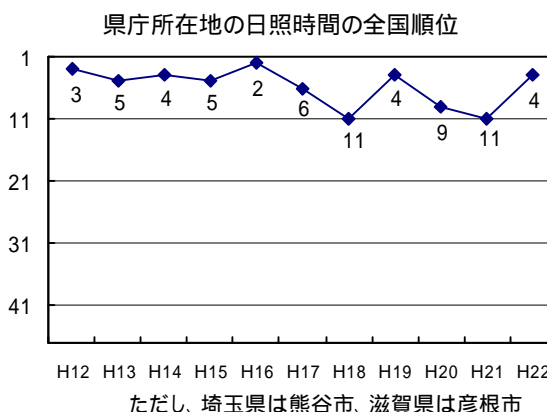
住みやすい風土や環境に恵まれています。

### ●長い日照時間

年間日照時間の長さが全国4位（平成22年）とトップクラスであり、青空がよく似合う県です。

### ●自然災害の少なさ

これまでに台風などの風水害や大規模な地震の発生が比較的少ないことから、県民の多くが「自然災害が少ない」ということを本県の魅力と思っています。



多彩で卓越した産業に恵まれています。

### ●ものづくり立県

日本の近代化を支えた絹産業から電気機器・輸送機器などの製造業に至るまで、長い年月を通じて継承されてきた高度な産業技術の集積があり、“ものづくり立県”を掲げて発展しています。



高度な産業技術

### ●伝統工芸品

熟練の技が光る多数の伝統工芸品があり、絹織物、こけし、縁起だるまなどが有名です。



全国一の生産量を誇るこけし



1300年の伝統を持つ「桐生織」

## ● 多彩な農林畜産物

関東地方において森林面積、森林率ともに最高であり、林産物の生産も盛んで、特にきのこの生産量は全国有数となっています。

豊潤な水と長い日照時間に恵まれ、標高10mの平坦地から1,400mの高冷地までの標高差がある農地では、年間を通して新鮮な農畜産物が生産され、野菜や果実、米麦、淡水魚、牛肉、豚肉、乳製品など多彩な食材の供給県です。



嬭恋村のキャベツ畑（生産量全国2位）



群馬の新鮮野菜



品質の高いおいしい豚肉  
（生産量全国4位）



群馬県育成品種のいちご  
「やよいひめ」



殿様ねぎとも呼ばれる  
「下仁田ねぎ」



全国シェア90%を占める  
こんにゃくいも



肉厚で香り豊かな生しいたけ  
（生産量全国2位）

個性豊かな地域文化に恵まれています。

## ● 歴史的遺産と文化財

古代の東国文化の隆盛をしのばせる古墳群、さまざまな伝説を持つ由緒ある神社仏閣、富岡製糸場を代表とする近代化遺産など、歴史的な遺跡や文化財が数多く存在します。



東日本最大規模を誇る太田天神山古墳



日本の近代化に貢献した富岡製糸場



奇岩で有名な榛名神社

## ●地域に根ざした文化的資産

地方交響楽団の草分けとして長い歴史を持つ“群馬交響楽団”、群馬の歴史や営みを凝縮した“上毛かるた”など、地域に根ざした文化的資産が広く県民に親しまれています。



群馬交響楽団

「群馬交響楽団」は、昭和20年11月、高崎市民オーケストラとして誕生しました。終戦直後の社会を音楽で明るくしようと、音楽家たちが集まり楽団を結成したもので、地方オーケストラとしては最も古い歴史を誇ります。

昭和22年5月から、小・中学校を訪問して生演奏を聴かせる移動音楽教室がはじまり、延べ600万人もの小・中学生が鑑賞しています。現在は、県内すべての子どもたちが、中学校卒業までに3回、授業で群響の演奏を聴くことができます。



上毛かるた

「上毛かるた」は、昭和22年に作られました。「上毛かるた」の札には、上毛三山をはじめとした県内の自然や温泉、歴史上の人物や地域の産業など群馬県の特徴が読み込まれており、時代を超えて県民に親しまれてきました。

今でも県内の各地域で毎年「上毛かるた」大会が開かれています。

県では、「上毛かるた」の一札一札に取り上げられた事象を解説した冊子を作成し、郷土のことを学習する小学校4年生の副読本として活用されるよう、配布しています。

## 群馬県の強み・弱み

強み (Strengths)	弱み (Weaknesses)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京から100km圏という恵まれた立地</li> <li>・新幹線や高速道路ネットワーク</li> <li>・豊かな自然環境</li> <li>・災害が少なく、日照時間が長いなどの住みよい風土</li> <li>・豊富な水資源</li> <li>・多彩な農林畜産物の生産・供給</li> <li>・自然や温泉などの観光地の魅力</li> <li>・高い技術力を誇るものづくり産業の集積</li> <li>・歴史、文化資産、多文化共生*</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車交通が中心で公共交通機関が弱い</li> <li>・港湾、空港（国際ゲートウェイ）へのアクセスが不便</li> <li>・外部環境に影響されやすい外需依存型の産業構造</li> <li>・民間調査における地域ブランド力が低位となっている</li> </ul>
機会 (Opportunities)	脅威 (Threats)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・北関東自動車道の全線開通、北陸新幹線の金沢延伸</li> <li>・港湾、空港へのアクセス強化</li> <li>・アジア諸国向け需要の拡大</li> <li>・知識経験の豊富な団塊世代*の大量退職</li> <li>・高まる健康志向</li> <li>・高齢者向け需要の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少社会の到来</li> <li>・少子高齢化の進行（老年人口の増加）</li> <li>・新興工業国の競争力向上</li> <li>・地球温暖化、資源・エネルギー問題</li> </ul>



## トピックス 群馬県が進める特徴的な取組例

県では、本県の特性を踏まえた特徴的な取組を推進しています。ここでは、群馬県が進めているさまざまな特徴的な取組の一部を紹介します。

### ぐんま総合情報センターの開設

首都圏向けに群馬県の魅力をアピールし、イメージアップや知名度の向上、本県への観光誘客や企業誘致を図るための戦略拠点として、平成20年、東京都中央区銀座に「ぐんま総合情報センター（ぐんまちゃん家）」を開設しました。

観光案内や物産販売だけでなく、企業誘致やテレビ番組など各種メディアへの売り込みなど積極的な情報発信を行っているのが特徴です。

これまでに70万人を超える来場者を迎え、首都圏の総合的な情報戦略拠点としての成果をあげています。



### 「ドクターヘリ」の運航

救急医療に必要な機材や救急医療の専門医・看護師を乗せて救急現場に出動するドクターヘリが平成21年2月から運航しています。

出動要請から、概ね20分で県内全域をカバーできるため、救急医療機関から遠い地域においても迅速な救急医療の提供が可能となり、これまでに約900件出動するなど着実な成果をあげています。



### 子ども医療の完全無料化

県では市町村と協力して、発育途上にあり、傷病のリスクが高い中学生以下の子どもたちの医療費の完全無料化を実施しています。

県内どこに住んでいても、入院・通院を問わず、所得制限や自己負担がない完全な無料化は全国でも例のないものです。

早期受診、早期治療を安心して受けられることによる、子どもたちの健全育成の促進を図るとともに、子育て世帯の負担軽減により子どもを産みやすく育てやすい環境の整備として成果をあげています。





## 尾瀬学校

尾瀬は、我が国を代表する美しい風景と貴重な生態系を有し、また、日本の自然保護活動の原点ともいわれています。

群馬県の子どもたちが一度は尾瀬を訪れて、質の高い自然体験を通して、自然の美しさ、厳しさ、守ることの大切さを学び、子どもたちの豊かな感性や自然保護の意識、さらにふるさとを愛する心を育もうと、平成20年度から県内の小中学生を対象とした「尾瀬学校」を実施しています。

平成22年度では143校、約1万1千人の児童生徒が参加し、尾瀬の素晴らしい自然を体験するとともに、尾瀬の自然を守る取組を学んでいます。



## ぐんま認定介護福祉士制度

質の高い介護人材を定着させ、介護サービスの質を向上させるため、全国でも例のない独自のキャリアアップの仕組みとして「ぐんま認定介護福祉士制度」を平成21年10月から実施しています。

平成22年度までに203人の認定介護福祉士が誕生し、県内で活躍しています。



## 重粒子線治療施設の整備

医療技術が進歩した現在でも、がんは死因の第1位であり、本人や家族に多くの苦痛や負担を与える疾病です。

本県では、がんに対する世界最先端の治療を行う重粒子線治療施設を群馬大学との共同事業として整備しました。重粒子線治療は、がん細胞に対する効果が高い上に、身体への負担が少なく、生活の質を落とさず治療できるという優れた特性があります。

この施設は、日本で3カ所目、大学に設置されるのは国内で初めて（世界で2カ所目）のもので、平成22年度から先進医療としての治療が開始されました。

